

— 大いなる可能性を秘めた日本の木造建築 —
 内田祥哉氏が語る 木造建築の戦後・現在、そしてこれから
 日本初開設の工学院大学建築学部が【特別講義】を行います

学校法人工学院大学では、開設2年目となる建築学部において「特別講義」を開講いたします。講師には本学特任教授・東京大学名誉教授の内田祥哉氏をお迎えし、近年、様々な観点から注目されている[日本の木造建築]をテーマに、その大いなるポテンシャルを語っていただきます。

日本では近年、木造建築が様々な観点から注目されております。日本の伝統や文化の象徴でもあり、環境への優しさや、地域社会や地場産業との深い関わりなど、日本の木造建築の優れた特性が見直されています。

とはいえ、ここに至るまで、木造建築は戦後の日本における復興とそれに続く経済発展下において、厳しい局面に対峙する状況を経験してきました。その中で木造建築に関わる人々は、新たな技術への挑戦を重ね、困難を乗り越え、いくつもの注目すべき木造建築を造りだしてきました。

今回の特別講義では、木造建築の戦後から現在までの事例を交えながら、日本におけるこれからの木造建築の大いなる可能性について、内田祥哉氏が語ります。

◆ 工学院大学 建築学部 2012年度特別講義 概要 ◆

日時：9月15日(土) 18:30～20:00(開場 18:00)

会場：アーバンテックホール

工学院大学 新宿キャンパス 3階

入場：定員 300名 予約不要・入場無料

講師：内田祥哉

工学院大学特任教授・学士院会員・東京大学名誉教授

— プロフィールは次ページをご参照ください —

演題：[木造建築の戦後から現在まで]

ナビゲーター：工学院大学建築学部建築学科教授 吉田倬郎

▼本件に関するお問い合わせ

学校法人工学院大学 総合企画部 広報課

電話：03-3340-1498 FAX：03-3340-1648

■工学院大学：<http://www.kogakuin.ac.jp/>

建築学部：<http://www.kenchikugakubu.jp/>



学校法人工学院大学は
今年10月31日に
学園創立125周年を迎えます

— 内田祥哉 先生 Profile —

- 1925年 生
- 1947年 東京帝国大学工学部建築学科卒業
- 1947年 逓信省入省、電気通信省を経て、日本電信電話公社建築部
- 1956年 東京大学助教授
- 1970年 東京大学教授
- 1986年 東京大学名誉教授（現在）
- 1986年 明治大学教授
- 1997年 金沢美術工芸大学教授
- 1997年 内田祥哉建築研究室代表（現在）
- 2010年 工学院大学工学部（現、建築学部）特任教授（現在）
- 2010年 日本学士院会員（現在）



[主な受賞歴]

- 1970年 日本建築学会賞（作品）：佐賀県立博物館
- 1977年 日本建築学会賞（論文）：建築生産のオープンシステムに関する研究
- 1978年 日本建築学会賞（作品）：佐賀県立九州陶磁文化館
- 1980年 Medaille Gustave Trasenster Universit LIEGE（ベルギー：リエージュ大学）
- 1996年 日本建築学会大賞：建築構法計画に関する一連の研究および設計活動による建築界への貢献

[主な建築作品]

- 1970年 佐賀県立博物館
- 1978年 佐賀県立九州陶磁文化館
- 1983年、1988年、1992年、1997年 武蔵大学
- 1994年 実験集合住宅 NEXT21
- 1994年 明治神宮神楽殿

[主な著書]

- 1968年 プレファブ 講談社
- 1977年 建築生産のオープンシステム 彰国社
- 1981年 建築構法 市谷出版社
- 1983年 建築の生産とシステム 住まいの図書館出版局
- 2002年 現代建築の造られ方 市谷出版社
- 2007年 建築構法(第5版) 市谷出版社